

県立大25周年

「市民の力で復興を」

東日本大震災公開シンポジウム 海外識者ら講演、討論

県立大創立25周年を記念した公開シンポジウム「東日本大震災と安全保障」がこのほど、静岡市駿河区のグランシップで開催され、国内の他、アメリカ、ロシアなど海外の講師ら6人が講演や討論を行った。
基調講演では、カナダ

のウォータールー大のデビッド・ウェルチ教授が震災の甚大な被害からの復興には国をまたいだ市民の連携が不可欠と強調し、「日本は市民の知恵と力を活用して復興する姿を全世界に示してほしい」と訴えた。

静岡藩に商法会所を設立するなど静岡県ともゆかりのある明治から昭和期にかけて活躍した実業家の渋沢栄一が、国内外の市民から義援金を募るなど民間の力を結集して関東大震災の復興に尽力した逸話も紹介された。



市民の力の活用を訴えるウェルチ教授
|| 静岡市駿河区のグランシップ